

37 医療研修推進財団の活動^{*1}河邊 博史^{*2}**はじめに**

1995年10月2日に当時の厚生大臣の許可を受けて設立された財団法人医療研修推進財団は、2012年4月1日には公益財団法人として内閣府より許可を受け、新たに公益財団法人医療研修推進財団としてスタートしている。

1. 本財団設立の目的

本財団設立の目的は、医療に関する各種分野を横断的かつ統合的に捉え、高度な情報技術を活用することを通じて各種医療従事者を対象とした研修の実施、関係団体が実施する研修への支援及び関連情報の収集、提供等を行うこと、並びに言語聴覚士に係る試験事務等を行うことによって医療の質を高め、もって国民の公衆衛生の向上に寄与することと定款に規定している。

2. 現在実施している主な事業

本財団は、上記目的を達成するために以下の事業を行うよう定款に規定している。すなわち、(1)医療従事者に対する研修の実施、(2)関係団体が実施する医療従事者に対する研修への支援、(3)医療従事者に対する研修に関する国内外の情報の収集及び提供等、(4)研修希望者と研修プログラムとの組合せ決定（マッチング）の実施に関する事務、(5)言語聴覚士国家試験の実施及び登録の実施等に関する事務、(6)その他、本財団の目的を達成するために必要な事業、である。以下に主な事業について少し詳しく述べる。

(1) 理学療法士，作業療法士，言語聴覚士養成施設教員等講習会の実施

理学療法士，作業療法士，言語聴覚士養成施設の教員等の養成や資質の向上を図るため、1974年から厚生省の指導の下、関連団体が新しい知識・技能を修得させ、あわせてリハビリテーション医療の普及向上のための講習会を実施してきたが、1998年度から本財団がこの講習会（年1回開催、毎回約150名が修了）の事務局を担当している。

(2) 診療放射線技師および視能訓練士の講習会の支援

診療放射線技師および視能訓練士の養成・教育に従事している実習指導者に対し、最新の知識・技術を習得させ、実習指導者としての資質向上のため講習会を実施している。なお、診療放射線技師講習会（年1回開催、毎回約250名が修了）は1996年度から、視能訓練士講習会（年1回開催、毎回約60名が修了）は1997年度から実施している。また、診療放射線技師新人研修会（年1回開催、毎回約100名が修了）も2011年度から実施している。

(3) 医師の臨床研修のためのプログラム責任者養成講習会の実施

臨床研修協議会から委託され、2004年度から開催している。医師臨床研修のプログラム責任者が円滑かつ効果的に臨床研修を推進し、研修医の臨床研修目的達成を支援するための助言・指導とその他の援助ならびに指導医に対する支援を適切に行うとともに、研修プログラムの実施を管理・調整・評価する能力を図るために実施している。1会場約50名で、2020年度時点では8会場で行っている。なお、2020年度からは、この講習会を受講する事がプログラム責任者に義務化された。

^{*1} Foundation for Promotion of Medical Training

^{*2} Hiroshi Kawabe 医療研修推進財団

表1 マッチング参加状況と全体のマッチ率

	2018年度	2019年度	2020年度
参加者数 (名)	10,063	10,075	9,876
希望順位登録者数 (名)	9,816	9,784	9,626
希望順位未登録者数 (名)	247	291	250
参加者最大希望順位登録数	24	999	29
参加者最小希望順位登録数	1	1	1
参加者平均希望順位登録数	3.17	3.25	3.44
研修プログラム数	1,384	1,363	1,354
参加病院数	1,025	1,020	1,017
募集定員 (名)	11,253	11,109	11,007
マッチ者 (名)	9,202	9,042	8,869
マッチ率 (%)	93.7	92.4	92.1

表2 最近の臨床研修病院と大学病院における研修医マッチング結果の概要

	2019年度			2020年度		
	臨床研修病院	大学病院	合計	臨床研修病院	大学病院	合計
参加病院数	899	121	1,020	896	121	1,017
研修プログラム数	986	377	1,363	987	367	1,354
募集定員 (名)	6,456	4,653	11,109	6,491	4,516	11,007
マッチ者 (名)	5,529	3,513	9,042	5,488	3,381	8,869
空席 (名)	927	1,140	2,067	1,003	1,135	2,138
1位希望者 (名)	7,002	2,782	9,784	7,055	2,571	9,626

表3 言語聴覚士国家試験の実施状況

回数	受験者 (名)	合格者 (名)	合格率 (%)
第1回	4,556	4,003	87.9
2	1,565	664	42.4
3	1,908	936	49.1
4	2,113	1,137	53.8
5	2,447	1,027	42.0
6	1,658	1,130	68.2
7	1,812	1,012	55.8
8	2,226	1,389	62.4
9	2,323	1,266	54.5
10	2,574	1,788	69.5
11	2,347	1,344	57.3
12	2,498	1,619	64.8
13	2,374	1,645	69.3
14	2,263	1,413	62.4
15	2,381	1,621	68.1
16	2,401	1,779	74.1
17	2,506	1,776	70.9
18	2,553	1,725	67.6
19	2,571	1,951	75.9
20	2,531	2,008	79.3
21	2,367	1,630	68.9
22	2,486	1,626	65.4
23	2,546	1,766	69.4
合計	55,006	36,255	65.9

(4) 医師臨床研修マッチングの実施

2004年度から新医師臨床研修制度が開始され、臨床研修指定病院における2年間の研修が必修化された。臨床研修希望者と研修病院双方の希望を踏まえて、コンピュータシステムにより両者の組み合わせの決定を行っている。また、厚生労働省の指導の下に日本医師会、全国医学部長病院長会議、臨床研修協議会、医療研修推進財団の4団体からなる医師臨床研修マッチング協議会が設けられ、2003年7月30日から本財団がその事務局を務めている。

最近の実績は表1の通りで、表2には臨床研修病院と大学病院に分けて、それぞれの最近のマッチング結果の概況をまとめた。

(5) 臨床研修病院ガイドブックの作成

臨床研修病院における研修プログラム（どのようなプログラムで研修するか）や、研修医に必要とされる情報をより具体的に掲載し、医学生が研修病院の選択および見学、受験の一助となるべき掲載項目を厳選、強化した「臨床研修

病院ガイドブック」を発行している。1983年より臨床研修研究会（現臨床研修協議会）から発行されていたが、1996年からは本財団が発行している。2001年からは、CD-ROM版と本財団のインターネットにより情報を提供している。

3. 言語聴覚士国家試験・登録事務事業

言語聴覚士法（1997年12月19日制定）は、音声機能、言語機能および聴覚に関するリハビリテーションを行う専門職として言語聴覚士の資格を定め、1998年9月1日に施行された。同法第12条および第36条の規定に基づき、本財団が1998年9月30日に指定試験機関および指定登録機関として当時の厚生大臣の指定を受け、1999年3月28日に第1回国家試験を全国6地区において行った。現在も国家試験事務お

よび登録事務を行っており、過去23回の受験者数と合格者数の推移を表3に示した。最近10年間の平均では、受験者数2,460.5名、合格者数1,729.5名、合格率70.3%である。なお、2021年3月末現在において国家試験合格者累計は36,255名で、免許登録者数は35,549名である。

おわりに

本財団は、国民の願う良質な医療を提供していくために、今後も社会的要請に対応した各種の医療研修を実施・推進するとともに、国家資格業務などの事業を実施することにより、医療従事者の資格の向上や医療の質の向上に寄与すべく、一層の努力を続けていきたいと思っている。